



先進国イタリアを実感

夜の交流会でも友好 日本でもがんばらにゃ

インフレ率に見合って年金の引き上げがされるイタリアの話聞いて、物価高騰でも年金が下げられる日本の現状にますます腹がたつた。頑張らねば！
夜は「利き酒」交流会に参加。こどももレオポルドさんに会ったので、昔覚えたイタリアの闘争歌「アバンティ・ポポロ」を一緒に歌ってもらえ嬉しかった。私の原語は怪しいものだが、レオポルドさんは終始ニコニコされていた。

第2講座 「日本高齢者人権宣言」の学習と討議

東山支部 倉田侘子さん

「日本高齢者人権宣言」の学習と討議の講座に参加しました。講師は井上英夫氏、藤井克徳氏でした。

「憲法改悪を阻止する」「障害者権利条約」学習は良かった。生活保護裁判4か所で勝利した。「高齢者人権宣言」が出され、憲法97条の歴史に学び理解する。戦前も闘いはあったが弾圧され、つぶされた。

憲法は 国民主権、平和主義、基本的人権をうたっている。土台に安倍闘争がある。平和的生存権、人権が保障されてこそ一体で両輪として平和がある。朝日訴訟、堀木訴訟、1人から、全国をわらして。熊本では、シモン氏の闘い、生存権を保障した25条、最高裁で認められた。現在、「年金引き下げは違憲」と5000人以上が裁判で闘っている。権利は闘う



第2講座 人権宣言の学習と討議

もの手にあると言われた。不断の努力、支援でなく保障をさせる。

藤井氏は全言と感ぜさせず 障害者運動、潮流、特徴等語られた。障害者を健全に近づける事でない。特別なニーズを持つ普通の人です。個人として尊重される社会を。

私たちは学びが大切、現憲法は誇りです。自民党は97条削除を狙っている。改悪派が多い中、何としても憲法を守りたい。戦争のない、個人が尊重される社会を望みます。

第3講座 シェンダー平等社会へ

中京支部 栗倉恵子さん

岡野八代さんは、ケアワークは社会の基盤インフラなのに、女性の無償労働を当然として国家が求め、ケアしない一部は無責任な特権者が政策を決めている現状を「こき使って病気になるたら、高齢になったら、家族に返す！ひと子ぎる」と鋭く告発されました。

大阪の公立中学校教師の平井美津子さんは日本軍慰安婦問題を人権の問題として、また日本では名乗り出られなかったこの意味＝声をあげられない社会の問題として、中学生と学んでいる実践を話されました。

お一人とも素晴らしい熱烈なお話で、会場中が集中し感動して聞きました。この講座に参加して本当に良かったです。

城陽支部中辻政美さん 第5分科会 介護問題と 介護保険制度のいま

自治体職員として、23年前の介護保険の創生に関わり、また、身近な人間が介護施設に勤務する今、私は改めて介護保険制度に関心があり、参加した。

制度の改悪の経緯と抜本的改革の取り組みについて、

講師から、丁寧でわかりやすい説明があった。関心の高さか、参加者70人が熱心に聞いた。

介護保険が20年を経て、高齢者の伸びを上回る3・4倍の利用者があり、国は環境を整えたというが、その一方で、制度を作り上げた厚生省幹部の「国家的欺瞞と言わざるを得ない現状」という事について話が進み、この制度は、発足から利用させない仕組みを組み入れている。保険あって介護なしの事態が広がり、機能不全に陥っているとの指摘があった。連帯原理により国の役割を下げたことが介護保険の今日を招いたと思う。

担い手も異次元の不足が続き、持続可能な制度という名のもと、収支均等を進めるあまり、保険料の引き上げには限界があるところまでなっている。介護の再家族化さえ起こっている。と指摘。社保協を中心に進められている。介護を給付と負担を切り離す。必要とする人に介護を。と訴えて第一次請願で13万筆もあったと報告があった。



国は「給付は高齢者・負担は現役」で、世代間対立を生み出しているが、低い社会保障費が問題。膨張する軍事費を下げ、社会保障費増額を求める私たちの取り組みこそ強めなければと思った。

話を聞き終えた後の意見交換では、年金削減で介護負担が重い。年金裁判をしている。改悪制度であっても介護保険に頼らざるを得ない状況。総合支援事業への不安。消費税との関係。職員の処遇の低さ。訪問介護ヘルパーの裁判の取り組みなど、7人の発言があった。

年金の削減で生活が厳しくなる中、必要となる介護が機能不全との話を聞き、改めて自分の問題として学び動かねばとの思いを強めた。

参加者感想

持続可能な制度という名のもと、収支均等を進めるあまり、保険料の引き上げには限界があるところまでなっている。介護の再家族化さえ起こっている。と指摘。社保協を中心に進められている。介護を給付と負担を切り離す。必要とする人に介護を。と訴えて第一次請願で13万筆もあったと報告があった。

支部紹介⑧ 城陽支部

水守る運動地域あげて 女性部活躍が推進力

高齢者人口比1%確保

城陽支部は1989年に18名で発足し、活動を重ね今では250名近くの仲間が活動しています。今年5月には第34回定期大会を3年ぶりに対面形式で無事終えることができました。

機関紙「ねんきん城陽」も、8月に400号を迎え、支部組合員をつなぐ「歴史と団結を強める役割」を発揮しています。

2月には「加齢性難聴に対する公的補助を



ドリームハンド(手作りの会)

「要求実現」のため、市への取り組み

求める請願」を生健会城陽支部と共同で行い、市議会に提出し、高齢者にとって切実な問題として議員への意見陳述を行いました。残念ながら賛成少数で取り上げられませんでした。支部アンケートでもたくさんの方の意見をもらっており、改めて取り組むこととしています。

城陽市では、東部丘陵開発・高速道路建設・交通移動手段・防災対策問題など市民生活での課題が山積しています。また、水道事業の広域化問題では、現在ある3つの浄水場をすべて廃止することを含む統廃合案が出されています。地下水を多く含んだ「城陽の安全でおいしい水を守れ」と市民が「守る会」を立ち上げました。今こそ、高齢者・市民の

立場に寄り添った解決が求められています。

城陽支部は、独自で「要求実現」



第34回定期大会

市民本位の市政になるよう活動を進める決意です。

支部は ①機関会議(役員・支部・女性部など)の定例開催、②機関紙定期月一回発行 ③魅力的なサークル活動の開催 ④助け合い活動「サポート絆」の活躍 ⑤新しく作った「入会のおり」の活用、これらの活動を通じての意識的な仲間増やしを行っています。

さらなる前進・飛躍するため、楽しい活動を広げ、楽しみ7分、活動3分を基本に、支部活動の推進力である女性部活動やサークルを通じて地道に取り組んでいきます。

(記・東村博一書記次長)

ワンショット

潜水の名手、羽ばたくカイツブリ

カイツブリ目カイツブリ科



多くの川や池に生息するカイツブリ、カモ類の中ではかなり小さい。京都市内 広沢の池。12月の初旬には昔から「京の風物詩」として知られている。その日には池の水を抜き、鯉やモロコなどを水揚げする。

水を抜く前にカモや水鳥たちが集まってくる。カイツブリもその中に含まれるが、夏羽では首は赤茶色、冬羽では黄茶色に代わり、すいすいと泳ぎ、たまには潜って小魚などをとって食べている。そこに浮いてい

たかと思うとアッという間にもぐってしまい、あちらの方でポッカー浮かびあがる潜水の名手。

大沢の池や広沢の池で繁殖し年々数が増えているように思われるが天敵も多く、卵が蛇に飲み込まれたり、幼鳥の時も絶えずカラスやトンビなど天敵がまち構えている。水草を積み重ねて水面に浮巣をつくり、夏のはじめ、綿毛のようなかわいいヒナを連れて泳いでいる姿は、ほほえましい。(浜)

京都年金者文芸

短歌



夕立ちに砂場に残したダンブカー

朝露にぬれ小さき主待つ

斜光射す巨杉の森の紅葉に

吾は酔いしれ異界に遊ぶ

田中 康晴

大橋 歳彦

以上年輪西京

湯つこ沸くシュンシュンコトコトお茶にしよ

みんなひと休み雨もひと休み

めずらしい赤銅色の皆既月食

大空に浮かぶ壮大さよ

植松 富枝

所川 和美

以上纏喜年金者しんぶん

巨椋野(おぐらの)のひまわり迷路のゆめのあと

残花なでゆく百風(びやくふく)ぞふく

旅や山・平和のために治療して

自分の足で歩み続けん

秋深き思い出の日々青春の

唄語りあったサークル又あいたい

全国版のニュースに確と見聞きなす

年金一揆の「年金下げるな」

以上宇治・久御山ねんきん

金の星地上に撒きて金木犀

花の終わりの香(か)や風の中

ペダルこぐ我を追い越す秋の蝶

コスモス畑でまた会えるかも

実を結ぶ山吹もあり道灌の

時代より時代より下り2022年

以上舞鶴年金者しんぶん

雲ヶ畑乗り合いタクシーもくもく号

ひとり貸切る初冬の山旅

山もえる紅葉(もみじ)散りゆき秋深し

一人さびしく山をあおぎ

林 良太郎(城陽)

寺澤 幸子(伏見)

俳句



柿紅葉拾うて眺め投げてみる

ずいきみこし短かく早も通りすぎ

以上年金の仲間北上京

来し方行く末 十三人の菊日和

秋高し一人暮らしの義父白寿

うかうかと八十路を超へてそぞろ寒

以上北桑田支部

落葉舞う音楽祭の帰り道

秋の夜のピアノニカの音風誘う

鳥くれたむらさきしきぶ実をつけて

秋風を吸ってふくらむ紙風船

以上年金者組合ひがしやま

手探りで道を捜しつつ翁の忌

芭蕉忌や同行二人で伊賀巡り

秋晴れやけむりたなびく里の道

以上纏喜年金者しんぶん

浦風の空にあふるるうろこ雲

瓜坊の一つ覚えや畑荒し

以上舞鶴年金者しんぶん

みな集ふ移動スーパ―霧の町

秋の日の青き光を瓶に挿す

以上これからだ福知山

赤き実の現われ出し柿の庭

小春日や門前町の昼の火事

なつかしき味を楽しむむかご飯

忠正 ちづ子

大野ひろみ

中野 忠樹

中田 範子

平林 直美

今井 節子

勝野 修子

伊藤 哲英

白木 礼子

波部万智子

須田 千恵

富美 康弘

宮下 広美

竹中 龍平

山本拓治(西京)

広田浩三(下京)

足利 久(向日)

川柳

栗きんとん我家は芋の味がする

お土産に芋・栗・きんとんああ嬉し

以上年輪西京

本音言うすぐさま辞任更迭か

白夜 美夜生

千龍子(舞鶴)

趣味の紹介



絵手紙 宇治久御山支部 宮本洋子さん(左)

中京支部 小鹿節子さん(右)

健康に悪影響 低周波音測定 の スペシャリスト

皆さんは低周波音問題を
ご存じでしょうか。低周波
音といわれる100ヘルツ
以下の音に反応して圧迫感、
ふらつき・めまい、不眠な
どの症状が表れ、なかには
住み慣れた自宅に住めなく
なる方がおられるのです。
低周波音の発生源として、
最近では風力発電と家庭用省
エネの機器が注目されてい
ます。大きな音を出すわけ
ではありませんが、ずっと
そこにあり、終日あるいは
夜間に作動して健康に影響
を与えるのです。翁長博さ
んは、そのような被害現場
の低周波音の状況を明らか
にするための測定を行って
おられる方です。

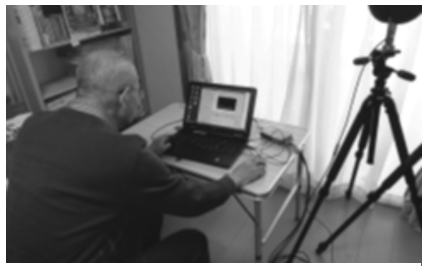
原因は家庭内にも

低周波音の影響を受ける
人は全体の2〜3%と少な
く、ほとんどの人は全く影
響を受けないため、発生源
側は長年「本人の気のせい」
としてきました。しかし2
000年には苦情が前
年の2倍超となり、そ
れ以降も増減はあるも
のの右肩上がり、ここ
20年で約6倍です。発
生源として当初は工場
関係が多かったのです
が、その後は家庭用省
エネ機器(「エコキュ
ー」など)やエアコン
室外機の割合も同程度

に増えてきました。そこで
2004年に環境省が参照
値を定めるなど対策を取り
始めました。

大学教員のと看から

翁長さんが測定に関わる
ようになったのは、建築



測定器を操作する翁長さん

音響学の
大学教員
として定
年を迎え
る2年前
だったそ
うです。
20年以
上前に低
周波音問

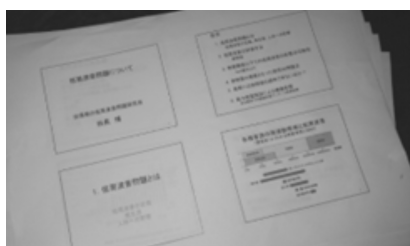


静かに元気に

おなが ひろし

翁長博さん

(70歳 山科支部)



低周波音問題資料

題に関わった時の仲間から
手伝ってと頼まれ、現場に
行くようになりまし。測
定の現場では4つのマイク
を屋外に2つのマイクを室
内に置き、パソコンとつな
いで20秒毎に24時間分約4
300個のデータを取りま
す。そのデータから、突発
的な車やヘリコプターの音
などの影響のあるものを除
いて、各時間帯の代表的な
データを6〜7分毎に抽出
し、それを基に低周波音の
周波数とレベル、推定音源
位置を示した一覧表を作成
します。これが大変で測定
結果を出すのに3週間から
1カ月ほどかかるそうです。
実際の報告書を見せてい
ただいたら、一覧表に色分
けされた細かい数字がびっ
しり並んでいました。

このケースは自宅前の工
場の低周波音が問題となっ
たものでしたが、稼働時間
内の数値が高く時間外は低
くなっている、工場の稼働
による影響がハッキリした
とのことでした。しかし、
現場の状況によっては測定
しても音源がハッキリしな
い場合も多いようです。

大企業の圧力とたたかう

実は低周波音を測定でき
る会社は全国に相当ありま
すが、低周波音による被害
を訴えるとなると電力、ガ
スなど大企業に対抗する必
要があることから、要請が
あっても引き受けない会社
が多いとのこと。翁長さん
は一度も断ったことがなく、
これまで40件以上調べてこ
られました。そして「環境
省が定めた参照値を下回っ
ていても被害が出ているこ
とに変わりはない、個人
の被害に即して対応を見直
していく必要がある」と話
されています。

(取材:矢吹美根子
西田美津子)